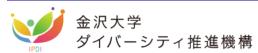
News Release



Institute for Promotion of Diversity and Inclusion, Kanazawa University





令和6年11月29日

各報道機関文教担当記者 様

ノーベル賞カタリン・カリコ博士と金沢大生がセッション 雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウム

このたび、金沢大学ダイバーシティ推進機構は、ハンガリー出身・アメリカ合衆国在住の生化学者であり、2023年度ノーベル生理学・医学賞を受賞されたカタリン・カリコ博士をオンラインでお招きし、雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、ご自身の研究についてご講演いただいたのち、<u>金沢大生と、女性の理系進学の意義、研究・ワクチン開発の原動力、さまざまな困難や挫折を乗り越えて生きる力・</u>行動力などについて、学生からの質問に答えていただく形式のトークセッションを行います。

<u>ノーベル賞受賞者と対話できる貴重な機会を通して、金沢大生が科学の最前線の知見に触れるとともに、今後のキャリアにおいて新たな視点を得るきっかけとします。</u>

つきましては, **当日の取材・報道**をよろしくお願いします。

取材を希望される場合は、別紙取材申込書を12月4日(水)15時までに本件照会先までお送りください。

【雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウム】

日 時 令和6年12月5日(木)10:30~11:30

会 場 金沢大学角間キャンパス

バイオマス・グリーンイノベーションセンター(BGIC)ステップホール

対 象 どなたでも参加可能(入場無料・事前申込が必要)

詳 細 別添チラシのとおり

主 催 金沢大学ダイバーシティ推進機構

※ 取材の際は、各社記者章を携帯し、腕章などで報道関係者であることを明示してください。

講師:カタリン・カリコ博士

「新型コロナウイルス感染症に対する効果的な mRNA ワクチンの開発を可能にしたヌクレオシド修飾技術に関する発見」が高く評価され、2023年にドリュー・ワイスマン (ペンシルベニア大学教授)とともに2023年度ノーベル生理学・医学賞を受賞。現ビオンテック上席副社長・ペンシルベニア大学客員教授。

【本件照会先】

金沢大学ダイバーシティ推進機構 加藤

TEL 0.76 - 2.34 - 6.905

E-mail : <u>cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp</u> Web : <u>https://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/</u>

申込日:令和6年 月 日

取材を希望する場合は、本申込書を 12月4日(水) 15時までに 下記の E-mail へ送信してください。

E-mail

cd lab@adm.kanazawa-u.ac.jp

ノーベル賞カタリン・カリコ博士と金沢大生がセッション 雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウム 取材申込書

報道機関名:	
	124
取材記者氏名:	
連 絡 先: ()
座 桁 九· <u>───</u> 同行者(カメラマン等):	
テレビカメラ等の内訳 (台数):	
/ - /- / / J - / J	<u></u> (例) テレビカメラ 1台

<取材申込先>

金沢大学ダイバーシティ推進機構 加藤

TEL: 076 - 234 - 6905

E-mail: cd lab@adm.kanazawa-u.ac.jp